

# セーシェル（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在セーシェル日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験

## 1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

## 2.日本語教育の実施状況

### 全体的状況

#### 沿革

セーシェルには日本企業の現地法人がなく、日本語を仕事に生かす機会はほとんどないため、日本語学習の積極的な動機が得られる環境ではない。2021年2月、若者や社会人の学び直しを目的とした政府支援の教育機関である「Seychelles Institute of Distance and Open Learning (SIDOL)」に日本語クラスが開講されたが、受講者数の減少が原因で現在は休講となっている。

#### 特徴

将来日本に渡航したいという思いやアニメなどの日本文化への関心を持つ人は多いが、必ずしも日本語学習への意欲にまで発展していないのが現状である。

日本語教師（セーシェル人）が1名しかいないため、今後の発展には教師の育成、日本語教育体制の整備が課題となる。

## 最新動向

特になし。

## 教育段階別の状況

### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 学校教育以外

セーシェル人の日本語教師1名が日本語のプライベート・レッスンを行っている。

## 3.教育制度と外国語教育

### 教育制度

#### 教育制度

- (1) 初等教育（P：プライマリー）は1年生（P1）から6年生（P6）までの6年間、中等教育（S：セカンダリー）は日本の中学校と高校をほぼ合わせた構成で、1年生（S1）から5年生（S5）までの5年間。このうち、P1からS4までの10年間は義務教育。
- (2) 初等・中等教育では、言語（セーシェル・クレオール語、英語、フランス語）、算数／数学、芸術・美術、理科／科学、技術・職業教育、社会、道徳（PSC教育）、保健・体育、情報通信技術（ICT）が必修科目。セーシェルでは観光業が主要産業の一つであるため、ホスピタリティ教育を行っている学校もある。
- (3) 中等教育では、社会で働く上で必要なスキルや知識を身につけることを目的とした「技術教育・職業訓練（TVET）プログラム」が導入されている。国際中等教育修了資格試験（IGCSE）などの学業成績が芳しくない生徒は、中等教育3年生（S3）の終わりに当該プログラムに進む選択が可能。当該プログラムでは、中等教育4～5年生（S4～S5）の2年間にわたり、学校や職場等で学習する。
- (4) 中等教育修了後の進路は、概ね以下の3つに分かれる。
  - ア. 大学進学（学士取得）に必要な資格を得るためのアドバンス・レベル課程（Aレベル、2年間）への進学
  - イ. 社会で必要な技術や知識をさらに習得するため、工学、芸術・デザイン、海事、経営、農業・園芸、保健、観光などの分野の専門学校、アカデミー、工科大学等の高等教育機関（1～3年）への進学
  - ウ. 社会人として働く
- (5) セーシェルには国立大学が1校のみで、取得可能な学位の分野が限られているため、理系など希望する

専攻分野によっては、英国、フランス、マレーシア等の海外の大学に進学する学生もいる。

## 教育行政

セーシェル教育省の管轄。

## 言語事情

- (1) 公用語はセーシェル・クレオール語（母語）、英語、仏語。
- (2) 幼稚園（crèche、クレシュ）から小学2年生までの授業はクレオール語で行われ、英語とフランス語は第二言語として幼児期から学び始める。小学3年生からは、基本的には英語が授業の教授言語となり、大半の科目の授業が英語で行われる（一方で、学生の言語能力や教師の判断その他の状況に応じ、クレオール語を補助言語として使用することもある）。また、個人の成長および社会人形成の中核と考えられている道徳教育（P S C E：個人・社会・市民教育）は、一般的にクレオール語で教えられている。
- (3) 初等教育では、フランコフォニー国際機関（O I F）から派遣されたフランス語教員助手が常駐し、フランス語教育の支援を行っている。

## 外国語教育

- (1) 「外国語」の教育についての規定は特にない。セーシェルでは、英語とフランス語がクレオール語とともに「国の言語（公用語）」として位置づけられた3言語政策が取り入れられており、学校教育において教えられている。
- (2) 若者や社会人の学び直しを目的とした政府支援の教育機関である「Seychelles Institute of Distance and Open Learning (SIDOL)」では、英語とフランス語が教えられている。
- (3) セーシェル国立大学ではフランス語学士の取得が可能である。また、同大学内の孔子学院では、中国語教育が行われている。
- (4) その他、民間の機関について、インターナショナル・スクールは英国教育式の学校とフランス教育式の学校の2つがあり、それぞれで英語とフランス語が教えられているほか、アライアンス・フランセーズではフランス語が教えられている。

## 大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

## 4. 学習環境

### 教材

### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 学校教育以外

教師作成の教材を使用。

## IT・視聴覚機材

特になし。

# 5.教師

## 資格要件

### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 学校教育以外

特に基準はない。

## 日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

## 日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用は確認されていない。

## 教師研修

現職の日本語教師対象の研修は確認されていない。

## 現職教師研修プログラム（一覧）

特になし。

## 6.教師会

### 日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

## 7.日本語教師派遣情報

### 国際交流基金からの派遣

### 国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

### その他からの派遣

（情報なし）

## 8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

## 9.評価・試験

### 評価・試験の種類

共通の評価基準や試験は確認されていない。

## 情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

**E メール：kunibetsu@jpf.go.jp**

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）